

家庭と子育て応援施策の推進

作成年月日	平成29年6月13日
作成部局	企画県民部女性青少年局
課室名	男女家庭課
(家庭と地域づくり推進本部会議)	

1 「家庭応援と地域づくり」に関する提言の概要

社会背景

人口減少・少子高齢化と世帯構造の変化

- ・県の人口は平成21年の560万人をピークに減少
- ・65歳以上の人口割合が増加(平成12年16.9%→27年26.8%)
- ・家族規模の縮小、低い都市部の三世同居率

雇用環境の変化

- ・共働きの増
- ・高止まりの総労働時間

情報化社会の進展

- ・スマートフォンの普及(平成28年:高校生の保有率95%)
- ・ネットトラブルやSNS上の中傷の激化

子どもをめぐる問題の深刻化

- ・児童虐待の増
- ・子どもの貧困率の上昇(昭和60年10.9%→24年16.3%)
- ・深夜に徘徊する子どもたち
- ・家庭内暴力

子育て支援に関する県民の意識

- ・子育てに地域の支えが重要:約9割
- ・子育て支援活動への参加意欲は半数を超えているが、実際の活動には結びついていない

課題

- ・家族のきずなの希薄化
- ・地域とのつながりの低下
- ・氾濫する情報
- ・子どもたちが人間性や社会性を育む機会の確保
- ・シニア世代の活躍
- ・参画と協働のさらなる推進

提言の視点と方向性

キーワード:「ゆるやかな関係性」と「連携」

県では、これまで県民の参画を得て、県民運動等を展開してきたが、家庭や地域の力の低下が懸念される昨今、家庭を支える地域づくりと家庭・地域・学校が協力した取組を更に進めていく必要がある。

地域との関わり方についても大きく変容してきていることから、高齢者をはじめ多くの人々が「ゆるやかな関係性」を保ちながら結び付き、地域の様々な団体が「連携」していく新しい仕組みづくりが求められている中、次の方向性で提言を行う。

- ・家族のきずなを深める気運醸成
- ・子育て家庭を支える地域づくり
- ・関係機関の連携と情報活用

県の主な取組

- 【ひょうご家庭応援県民運動】
県民一人ひとりが家族・家庭の大切さを再認識し、地域で家庭を支える取組を進めるための県民運動。
【「家族の日」運動】
「家族の日」普及のため、毎年写真コンクール等を実施
- 【お父さんプロジェクト】
男性が子育てに参画することへの理解と意識醸成のため、セミナー等を実施
- 【企業表彰・応援協定の締結】
・ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰の実施 2811社
・ひょうご女性の活躍企業表彰 276社
・企業と子育て応援協定の締結 281,233社
- 【三世代交流による地域子育て支援事業】
昔遊び等を通じ、三世代が交流する体験教室等を開催
【地域祖父母モデル事業】
地域のシニア世代と子育て世代を結びつけるため、交流会や買い物の一時的預かり等を実施
- 【まちの子育てひろば】
親子が気軽に集い、お互いに情報交換等を行う場
【子どもの冒険ひろば】
子どもたちが自由な発想で遊ぶことができる場
【若者ゆうゆう広場】
子どもの健全育成のため地域の大人、中高生等が立寄る場
- 【まちの寺子屋】
地域の大人たちが、子どもたちに昔遊び、茶道等の伝統文化体験等を通じ、社会のルールや礼儀作法などを伝える場
【こころ豊かな人づくり500人委員会】
次代を担う青少年の育成活動等の担い手を育成
- 【県民交流広場】
身近なコミュニティ施設などを活用した住民の地域活動を支援
【子育て応援ネット】
県内女性団体が中心となり地域での見守り活動を実施
- 【地域学校協働活動】
地域と学校が連携・協力して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく活動を推進
- 【ひきこもり相談支援センター】
「ひょうごユースネット推進会議」のネットワークを生かし、県立神出学園を中核に運営
【こども家庭センター(児童相談所)】
18歳未満の子どもと家庭のさまざまな問題について相談援助活動を展開
- 【インターネット利用に関する基準づくりの支援】
青少年が適正にインターネットを利用できるよう、青少年愛護条例を改正し、小学校等におけるインターネットの利用に関する基準づくりを市町と連携して支援

提言

提言1 家族のきずなを深める気運醸成

- 家族のつながりの強化
～家族でいっしょに思い出づくり～
「家族の日」などに家族で一緒に過ごす時間を作ったり、家族の共通体験機会を持つことで家族の連帯感を高める。
●家族の共通体験の促進 ●「家族の日」運動の強化
- 家族協働の推進
～家族みんなで支える家庭生活～
家族の一人ひとりが家事等に積極的に関わるなど生活力を身に付け、共に成長する家族づくりを進める。
●責任を分かち合い共に育つ家族づくり
- ワーク・ライフ・バランスの推進
～仕事も家庭も両方大事～
ワーク・ライフ・バランスを推進するため、仕事と家庭生活の両立のための環境整備を一層進める。
●働き方の見直し ●女性の活躍推進

提言2 子育て家庭を支える地域づくり

- 多様な交流
～次世代につなげる地域の伝統～
地域の伝統・文化を次世代に伝え、あらゆる世代との交流を促進する。
●世代間交流と伝統行事などの伝承
●高齢者がいきいきと活躍する地域づくり
- 居場所づくり
～地域それぞれ居心地のいい場所～
地域で気軽に集まれる多様な場の開設など地域そのものが居心地の良い居場所となる場づくりを進める。
●多世代が集える場づくり
●共通の問題・テーマで集える場づくり
- 人材の発掘と育成
～生かす、育てる地域の人材～
地域の人々が持つ様々な能力を生かし、地域活動の発展を図る。
●地域の人材の活用
●地域の人材・団体をつなぐ能力の育成
- 温かい近隣関係の構築
～地域に広がる近助けあい～
いざという時に助け合える近隣関係を構築するとともに、地域の企業・団体と連携しながら安全安心なまちづくりを進める。
●新しい「近助」の関係づくり ●地域の安心安全の推進

提言3 関係機関の連携と情報活用

- 学校と地域の連携、企業・NPOと地域の連携
～大きく広がる地域の輪～
地域と学校、企業・団体等との連携を進め、地域ぐるみの子育てを推進する。
●地域学校協働活動等の推進 ●企業のCSR活動との連携
- 専門機関につなぐ仕組みづくり
～次につなげて適切対応～
支援機関の支援内容が地域で周知され、問題が生じた場合に適切な機関等につなぎ迅速かつ的確に必要な支援が受けられるよう、連携を強化する。
●適切な情報の発信 ●専門機関につなぐ仕組みの構築
- ICT(情報通信技術)の効果的な活用
～役立つ情報、安全安心～
SNSの活用による情報発信等、ICTと上手につきあう方策を検討する。
●SNS等によるリアルタイムの情報発信、相談
●インターネットの安全な活用